

富士山 (~ 2300m 迄)

194. 1月16日 ①, ②, ③ 武部 慎

御殿場口の分れ道から雪道が続く。富士山は雲一つなく絶好のチャンスである。3000m位は登りつもりで、安全な東側斜面へ回り込みながら登り、ていこうと思いた。2000mから斜度がだんだんできてきて、2300m位からクラス人が堅くたりにアイゼンの世界が近くなってきた。なぜか今まで下界が大きく見えただけに山中湖方面に滑いた雲が急に広がるとんどん雲が上がってくる。5分向程度、2000m以下は雲の中にあり、もう御殿場口は見えなくなってきた。今日は一日快晴の予定が... あせって滑降の準備をしきりもう、て再び下界を見てもう雲がなくなってきた。再び登ることも考えたが、いつ視界がなくなるとか知らず、素直に下山することにした。2000m迄の斜面は、アイスバーン、シムカブラ、新雪のまじりで、なんとか転ばないようにならざるが精一杯であった。2000mからの緩斜面は新雪で、ところどころで、ガリガリと隠れた石の上を滑りながらも雪煙も上げて滑った。

御殿場口 7:30 — 2000m 10:00 — 2300m

(11:20 — 1700m (12:30/50) — 御殿場口 13:00